



2026年6月1日
イオン株式会社

～「イオン ふるさとの森づくり」35周年 いきもの調査を通じて森の価値を可視化～
「イオン ふるさとの森 いきもの調査2026」を開始
2025年度の調査では2,299種のいきものを確認

イオンは、6月より全国150カ所以上で「イオン ふるさとの森 いきもの調査2026」を本格的に開始します※。2025年度の調査では、全国120カ所の「イオン ふるさとの森」で、お客さまを含む1,254人の方にご参加いただき、2,299種のいきものを確認しました。2026年度は、対象店舗や対象エリアの拡大を進め、これまで育ててきた「ふるさとの森」が持つ生物多様性価値の可視化をさらに進めていきます。



過去のいきもの調査の様子

「イオン ふるさとの森 いきもの調査」は、店舗周辺の「イオン ふるさとの森」にどのようないきものが生息しているのかを、お客さまや地域の皆さまに参加していただく形で実施する自然環境調査です。スマートフォンアプリ「Biome（バイオーム）」を活用し、見つけたいきものを撮影・投稿することで、森の豊かさや生態系としての機能、生物多様性価値を把握していきます。

記

- 実施期間（予定）：2026年6月1日から2026年11月30日まで
- 実施場所：全国150カ所以上の「イオン ふるさとの森」およびその周辺
- 調査方法：スマートフォンアプリ「Biome（バイオーム）」を活用し、対象エリアで確認したいきものを撮影・投稿
- 参加対象：お客さま、地域の皆さま、イオン チアーズクラブ、従業員など
- 調査結果の活用：生物多様性価値の可視化、過年度データとの比較、森づくり・育樹・店舗緑地管理への活用

【ネイチャーポジティブに向けたイオンの歩み】

イオンは、1991年から、新店舗が開店する際に、地域の皆さまとともにその土地由来の樹木を植える「イオン ふるさとの森づくり」に取り組んでいます。2026年2月末時点で、累計植樹本数は約1,284万本、参加者数はのべ約130万人に達しました。35周年を迎える今年、イオンは本活動をネイチャーポジティブ実現に向けた転換点と位置づけ、これまで育ててきた「イオンの森」の価値の再確認と可視化を進めています。

2025年度は5月20日から11月30日まで、全国120カ所の「イオン ふるさとの森」で5年目となる、いきもの調査を実施しました。お客さまを含む1,254人にご参加いただき、投稿数は10,480件、確認された種数は2,299種となりました。希少種や外来種の確認に加え、店舗周辺の緑地が、都市近郊における生物の生息環境として機能している可能性が示されました。

2026年度も6月より、全国で順次開始します。調査手法の標準化や対象エリアの拡大を進め、生物多様性の変化を継続的かつ定量的に把握するとともに、調査結果を可視化・評価し、自然の回復に資する取り組みへと活用していきます。

今年7月には「グローバル・ネイチャーポジティブ・サミット2026（GNPS2026）」に参画し、これまでの取り組みの成果と今後の方向性を発信する予定です。来場者に「イオンふるさとの森 いきもの調査2026」への参加を呼びかけるとともに、調査の途中経過を速報として発表し、「イオンの森」が持つ生物多様性価値の可視化に向けた取り組みを紹介する予定です。また、関連する取り組みとして、「イオンモール熊本」では、地域と自然をつなぐ新しい形の森づくりも進めています。

イオンは今後も、「イオン ふるさとの森」を地域の皆さまとともに見守り、育て、活かすことで、自然と共生する社会の実現に貢献してまいります。

※：2026年度の第一弾は、5月23日に「イオンタウン浜松新橋」で先行実施いたしました。

<ご参考>

▼ニュースリリース「イオン ふるさとの森づくり」35周年

https://www.aeon.info/wp-content/uploads/news/pdf/2026/03/260306R_1.pdf



▼30秒動画「いーえす爺がゆく！いきもの調査」

https://www.aeon.info/wp-content/themes/aeon_corp/_assets/images/sustainability/video/ikimonotyousa_1920x1080_02.mp4



以上